

全日本インカレ男子結果報告

広島大学体育会バレーボール部同窓生の皆様

(同窓会連絡フォームへ登録いただいた皆様及び同窓会やコートの仲間等でご連絡いただいた皆様へお送りしています。)

いつも大変お世話になっております。

広島大学体育会バレーボール部です。

11/28 に、東京都エスフォルタアリーナ八王子において、広島大学男子が全日本インカレに出場しました。

試合結果は、以下のとおりです。

トーナメント 1 回戦 vs 山梨学院大学

●0-3 (18-25、20-25、16-25)

(男子最終結果)

優 勝 早稲田大学

準優勝 順天堂大学

第 3 位 東海大学

第 4 位 日本体育大学

(女子最終結果)

優 勝 筑波大学

準優勝 東海大学

第 3 位 福岡大学

第 4 位 岐阜協立大学

(広大バレー部 X (Twitter))

<https://twitter.com/hiro daiVOLLEY>

相手は左利きアタッカーの攻撃を軸に、広大の弱点を突いて常に得点の可能性が高い状態が続きました。相手はサーブや軟打への対応は波があったものの、ブロックではクイックを止めて両サイドに絞る基本が徹底されており、佐々木、稲葉、村上が3連続でシャットされる場面もありました。2セット目は広大がサーブで攻めてリードを奪う場面もありましたが、相手は切り返しの攻撃も速く、非常に高い完成度が求められる試合となりました。

広大な力自体は抜けていて、緊張で力が発揮できないようなことはなく、遠征先でも普段と変わらないコンディションで挑めていました。この点は、サポートメンバーも含めたそれぞれの努力の結果だと思います。ただ、流れが変わりそうな一本が出ても、次のラリーで度々ミスが出てしまい、続かないところが、特に今秋の課題であり続けました。それぞれに長所はあるものの、それが見えづらくなっていたように感じました。

そんな中、最後の練習で群を抜いて動きが良かったライトの村上は、この大舞台でも安定して力を発揮することが出来ていました。稲葉がサーブで狙われ、的を絞られやすい状況でしたが、相手コートから見ると非常に嫌な存在で、チームを牽引していたと思います。来年はこれまで稲葉が決めていた場面でもトスが上がってくると思いますので、高い意識で練習からチームを引っ張って欲しいと思います。練習を変えることは並大抵のことでは出来ませんが、1本に対する執着心を高めてくれることを期待しています。

本大会をもって、2020年度入学生の稲葉、西村(治)、河津、西村(紀)、樋口、北川、落合、羽角、碓は引退となりました。

今年もたくさんのご声援をいただき、誠にありがとうございました。

来年もどうぞよろしく願いいたします。